

35 トルコギキョウの高温遭遇による生育開花反応

福島県農業試験場いわき支場・平成12年度農業試験場試験成績概要

1 部門名 花き—トルコギキョウ—生理・生態 分類コード 05—19—04000000

2 担当者 矢吹隆夫・渡邊理恵子

3 要 旨

トルコギキョウの9月出し栽培において、夏期の高温(最低夜温25℃以上)に遭うと早期に短茎で開花することが問題となる。そこで、高温遭遇の時期と生育及び開花との関係について検討した。

(1) 抽だい開始時から雌ずい分化後期までの間で高温遭遇させた結果、抽だい開始時からの高温遭遇により、切り花長が劣った。

(2) 品種の違いと高温遭遇の影響との関係をみると、中生種、中晩生種、晩生種いずれの品種も抽だい開始時から10日間の高温に遭遇することにより、切り花長、切り花重、花蕾数が劣った。

以上のことから、トルコギキョウの9月出し栽培において、抽だい開始時から10日以上的高温に遭遇すると切り花品質が低下した。この時期は花芽分化が早く高温の影響が大きいいため、夏期の温度管理には注意が必要である。